

事業実施状況（値はすべて速報値）

1) 被害防除対策

➤ 音波忌避装置

東洋地区の1ヶ統（10号定置）の【沖網】（1網）に超音波忌避装置を5月28日から設置している。

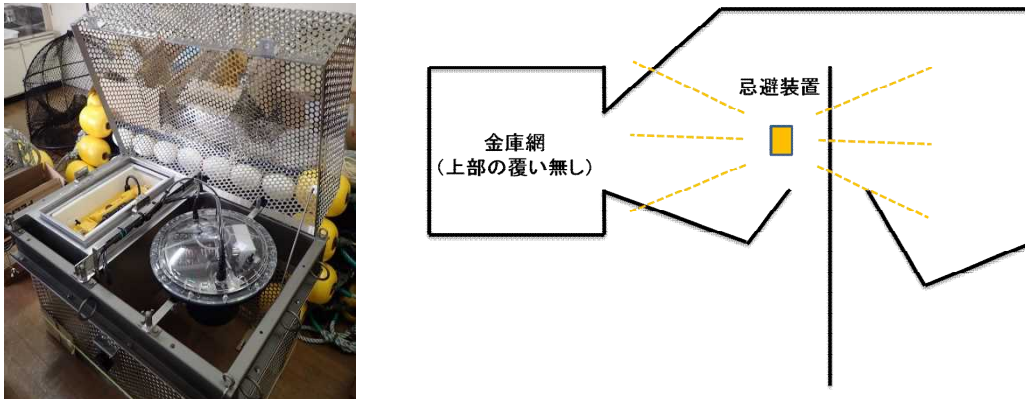


図 1. 忌避装置の設置状況

忌避装置の主な仕様：

- ・ 超音波を2方向に発射（600W×2）。
- ・ リチウムバッテリーを使用（24時間稼働で4日間程度持続。）
- ・ 重量 71.7kg

これまでのところ、被害量は少ないが、忌避装置を設置していない【陸網】においても被害量は少なく、忌避装置による効果の確認が難しい（図2及び3）。引き続き、効果の継続性等を確認する予定。

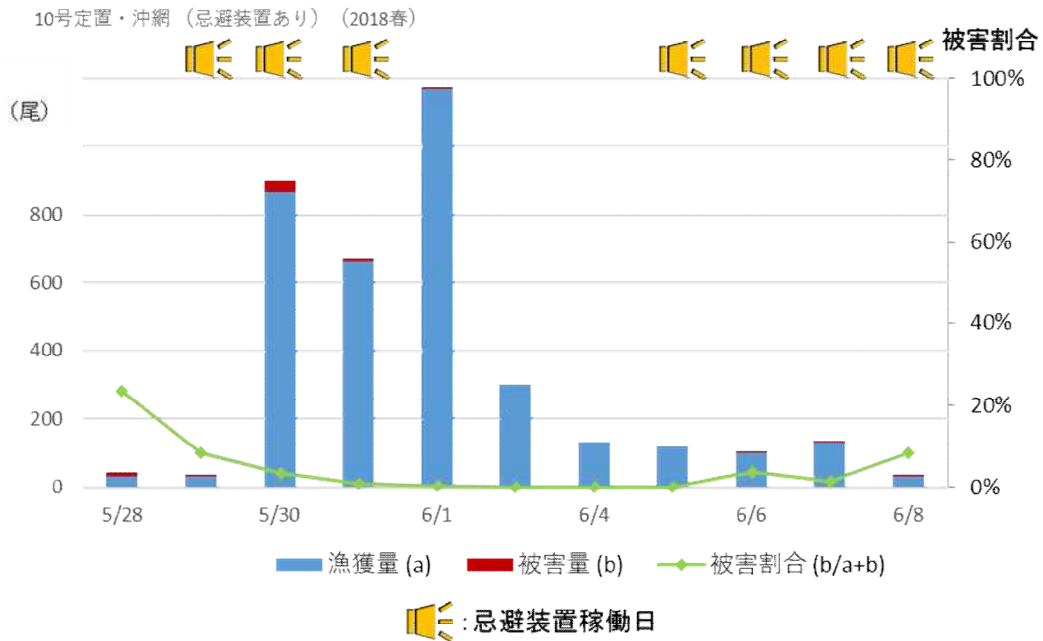


図2. 10号定置 被害状況（**沖網**：忌避装置**あり**）
（サケ・マス類のみ。以下同じ）

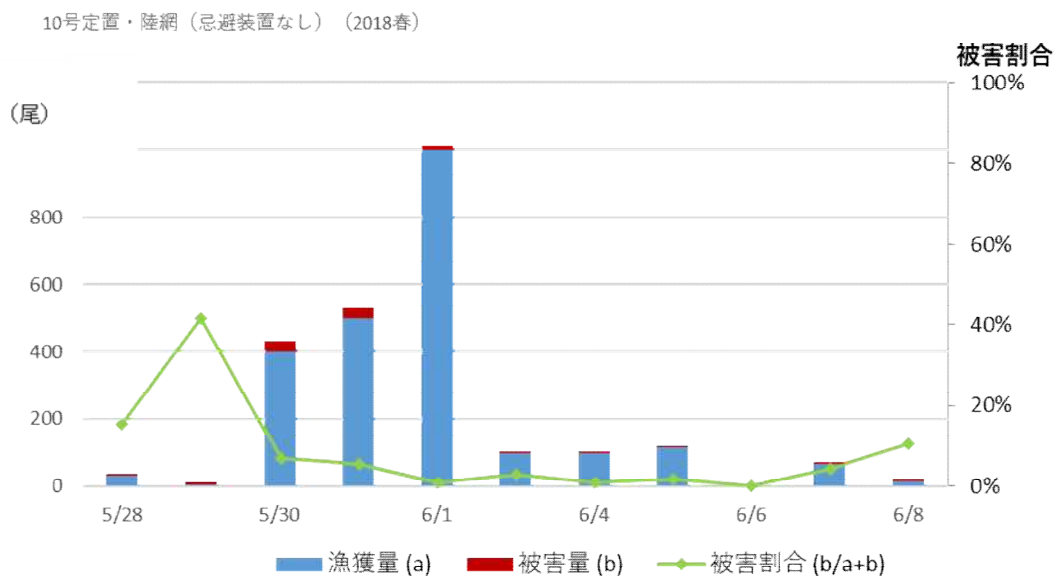


図3. 10号定置 被害状況（**陸網**：忌避装置**なし**）

➤ **防除用格子網**

東洋地区の1ヶ統（9号定置）の【沖網】（1網）に「菱目型」（ダイニーマ製）の防除用格子網を5月10日から設置している（従来は「角目型」）（図4）。

これまでのところ、防除用格子網を設置した【沖網】の方が捕獲用格子網を設置した【陸網】に比べて、被害量は少なかった（図5及び6）。また、水中カメラの映像や漁業者の意見から、従来型の「角目型」より「菱目型」の方がサケ類の進入がスムーズで

あると推測された。なお、5月31日には、オットセイによるものと推測される被害が確認された。

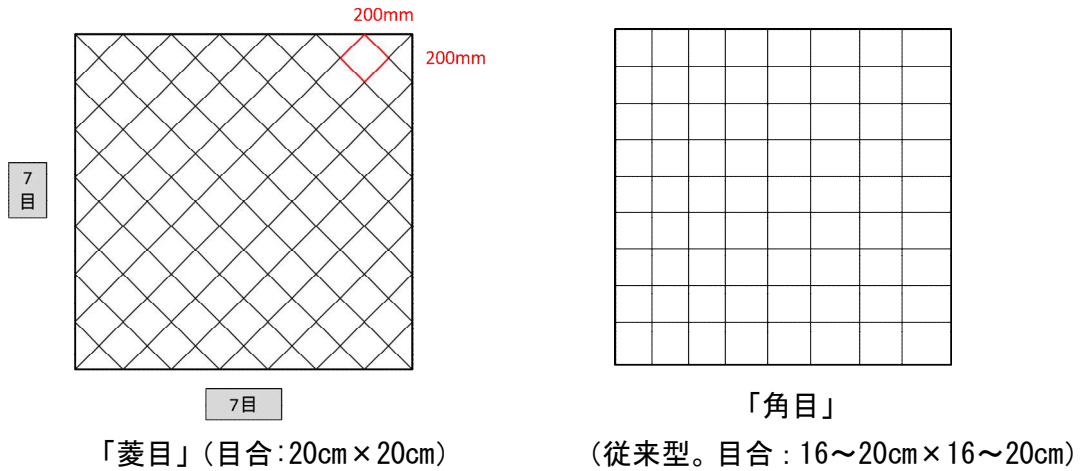


図4. 春定置に設置した「菱目」防除網(左)と従来型の「角目」(右)

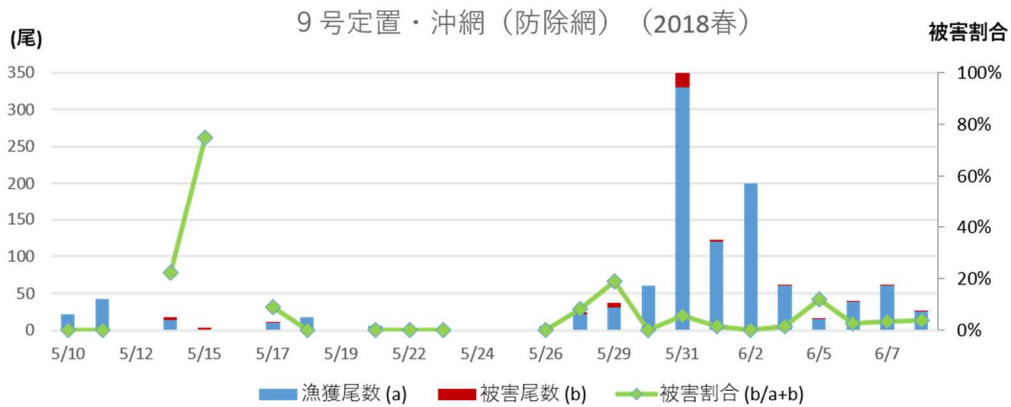


図5. 9号定置 被害状況 (沖網: **防除網**)

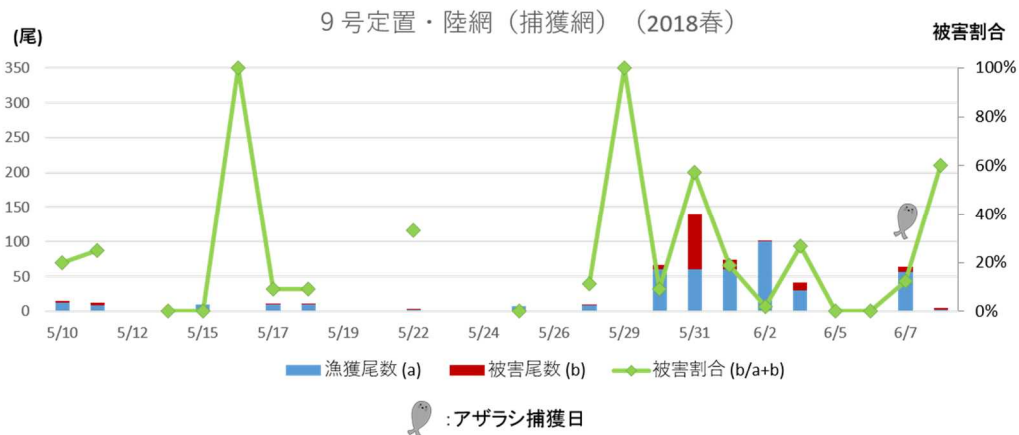


図6. 9号定置 被害状況 (陸網: **捕獲網**)

2) 個体群管理

➤ 定置網による捕獲

5月9日より、東洋地区の1ヶ統（9号定置）の【陸網】（1網）に漏斗式捕獲網を設置している（沖網には菱目型防除格子網を設置）。これまでのところ、成獣1頭の捕獲があった。状況をみつつ、出口の形状等を変更するなど、効果的な捕獲を検討していく。

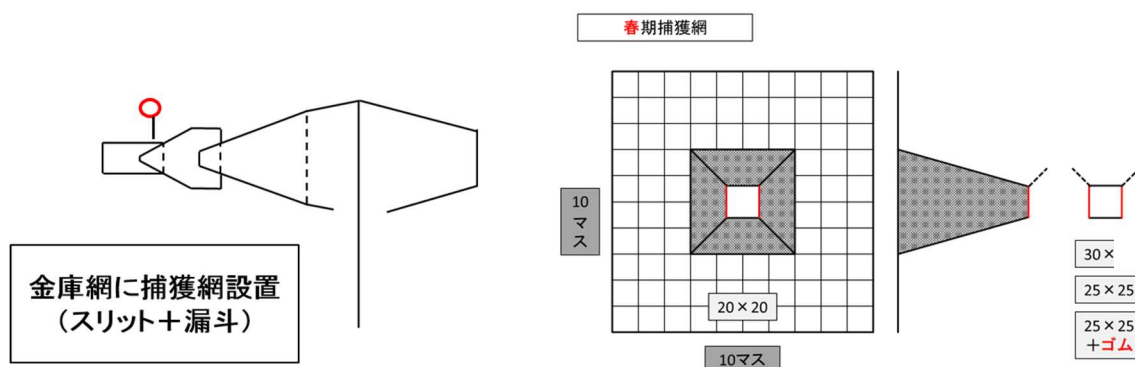


図7. 捕獲網の形状。

表1. 実施状況

設置日	漏斗式捕獲網の形状	捕獲頭数	状況
5/9 ~ 6/4	入口： <u>120×120cm</u> 出口：25×25cm、 <u>ゴムなし</u>	0	・5月中旬まではサケ類の漁獲も少なく、水中カメラの映像からほとんどアザラシの進入は確認されなかった。 ・5月下旬以降、小型個体の出入を水中カメラの映像で確認。
6/5	入口： <u>120×120cm</u> 出口：25×25cm、 <u>ゴムあり</u> （完全に閉じている）	0	・クラゲが詰まるため1日で外す。 ・水中カメラの映像から小型個体が数時間、留まっていた様子が確認されたが、スリットをずらし脱出した模様。
6/6～	入口： <u>80×80cm</u> 出口：25×25cm、 <u>ゴムあり</u> （開きあり）	成獣：1	・H29年度使用したもの。 ・設置翌日に成獣1頭を捕獲。

➤ **刺し網による捕獲**

尺目（30 cm）の二枚網、12 反（2 枚合わせ×6 反）程度を使用（H29 と同じ）

実施日	実施場所	頭数	暫定的な齢区分
5 月 23 日	岬岩礁付近	44 頭	幼獣 41、亜成獣以上 3
6 月 1 日	西側岩礁付近	7 頭	幼獣 7
6 月 5 日	岬岩礁付近	44 頭	幼獣 44

➤ **混獲**

1 頭（3 月カレイ刺し網）

➤ **捕獲・混獲の合計（6 月 8 日時点）**

	頭数	暫定的な齢区分
捕獲	96 頭	幼獣 92、亜成獣以上 4
混獲	1 頭	幼獣 1

3) その他

➤ ゼニガタアザラシの水族館への譲渡について

1) 譲渡個体

- ・平成 29 年 10 月 5 日に定置網（えりも岬地区）で捕獲されたメス（幼獣）
- ・平成 29 年 11 月 13 日に刺し網（岬岩礁周辺）で捕獲されたオス（幼獣）

2) 譲渡概要

- ・（公財）日本動物園水族館協会と「おたる水族館」に協力いただき、おたる水族館において一時收容し、皮膚病を罹患していたため治療を行った後、平成 30 年 5 月 25 日に、横浜八景島シーパラダイスに譲渡した。なお、譲渡した個体は受入れ施設において終生飼養される予定（第 3 者への譲渡・販売等は禁止している）。



譲渡個体（おたる水族館にて）